



# 38校、シード権かけ熱戦

春季近畿地区高校野球大会の県予選(県高校野球連盟主催)が16日、開幕した。38校がトーナメントで競い、近畿大会出場と、夏の全国高校野球選手権和歌山大会のシード権(ベスト4)をかけて戦う。決勝と3位決定戦は5月15日、田辺スポーツパーク野球場(田辺市上の山1丁目)である。

田辺スポーツパークでは新

翔一田辺工業の試合で開幕した。田辺工業は3回裏、1死満塁から4番田上の右前2点適時打で先制。その後も敵失などで追加点を挙げた。新翔は5回と8回に1点ずつを返したが及ばず、田辺工業が5-2で勝った。

そのほかの試合会場は、紀三井寺球場(和歌山市毛見)と上富田スポーツセンター(上富田町朝来)。県予選の上位3チームが5月28日、6月5日に紀三井寺球場である近畿大会に出場できる。

(19日付に続報)